

第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能 開催要綱

【全体テーマ】

過疎化・都市化・単身化時代に立ち向かう地域福祉の実践力を高める

～力を合わせ、生き活きと、希望に満ちた、普段の、暮らしの、幸せづくりのために～

ご案内

関東地方全域地図



埼玉県全域地図



□期日 平成28年8月25日(木)～27日(土)

□会場 飯能市市民会館(全体会場) 他

主催 第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能実行委員会
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

【全体テーマ】

過疎化・都市化・単身化時代に立ち向かう地域福祉の実践力を高める

～力を合わせ、生き活きと、希望に満ちた、普段の、暮らしの、幸せづくりのために～

1 開催趣旨等

家族機能が縮小し、地域のつながりも希薄化しつつある今日のわが国では、「新たな支え合い」に象徴される地域福祉実践が求められています。この推進には、地域福祉のこれまでの主要な担い手である社会福祉協議会、行政、社会福祉法人、民生委員・児童委員、自治会、ボランティアだけではなく、NPO法人、商店街、社会的企業、現役世代の地域参加、若者、隣人（となりびと）など多様な市民が参加した新たな地域づくりが必要になってきました。また、住民と地域に寄り添い、課題の解決をめざすコミュニティソーシャルワーカーの働きも注目されるようになってきました。

今回の第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能は、東京近郊における過疎地域の地域福祉実践事例を取り上げ、その成果の検証を行うとともに、過疎化、都市化、単身化の視点から新しい地域福祉の課題を明らかにしようとするものです。

飯能市は、埼玉県内で3番目に広大な面積を有し、その4分の3は山林であり、人口は80,356人（5月1日現在）、豊かな森林を中心とした自然環境に生まれ、木材、やきもの、森の動物、飯能水、河川、温泉が有名です。中圏域は旧村単位で8地区あり、3地区が市街地、5地区が山間地です。3地区に人口の72.2%が集中しています。高齢者8人に1人がひとり暮らし高齢者ですが、その数は急増しつつあります。いま、「第2次はんのうふくしの森プラン（第2次飯能市地域福祉計画、第3次飯能市地域福祉活動計画）」を基に、市民が主役になって地域福祉実践を進めています。ぜひ、現地で一緒に語り合しましょう。

○本セミナーの特色

- ・地域福祉に関わる様々な分野の実践者と住民がともに交流し討議することを通して、今後の地域福祉の実践に新たな見通しを拓きます。
- ・地域福祉の先駆的な実践現場に集い、現場の実践を分析することによる臨場感に富んだ研修の場を提供します。
- ・各分野のワークショップでは、コミュニティソーシャルワークを中心とし、参加者自身が課題を明らかにし、その課題解決の方策をアドバイザーとともに考察し、企画力・実践力の向上を図ります。
- ・ワークショップの達成課題を明らかにし、全体フィードバックでのプレゼンテーション・総括を通して、コミュニティソーシャルワーク・スキルの向上を図ります。

2 主催 第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能実行委員会
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

3 共催 飯能市、社会福祉法人飯能市社会福祉協議会

4 後援 埼玉県、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会、埼玉県教育委員会、飯能市教育委員会、社会福祉法人おぶすま福祉会、社会福祉法人京悠会、社会福祉法人埼玉現成会、社会福祉法人名栗園、社会福祉法人はなみずき会、社会福祉法人武州清寿会、社会福祉法人むさしの福祉会、社会福祉法人弥生会

5 期日 8月25日(木)～27日(土)

6 会場 【1日目 8月25日(木)】

全体会：飯能市市民会館 大ホール

(所在地：飯能市飯能226-2 電話：042-972-3000)

情報交換会：ホテル・ヘリテイジ飯能 sta.

(所在地：飯能市仲町11-21 西武飯能ステーションビル内

電話：042-975-1313)

【2日目 8月26日(金)】

ワークショップ：飯能市内各施設(6ヶ所)

交流会：ホテル・ヘリテイジ飯能 sta.

(所在地：飯能市仲町11-21 西武飯能ステーションビル内

電話：042-975-1313)

【3日目 8月27日(土)】

報告会及び総括講演：飯能市総合福祉センター

(所在地：飯能市双柳371-13 電話：042-973-0022)

7 参加対象者・募集定員

社会福祉協議会役職員、社会福祉施設役職員、民生委員・児童委員、行政職員、学校関係者、地域保健・医療関係者、学生・大学院生、その他社会福祉に関心のある方 500人

8 日程

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 18:00 19:00 20:30

【1日目】 8/25(木)		受 付	開 会	オープニング 基調講演	休 憩	シンポジウム	移 動	情報交換会
【2日目】 8/26(金)	ワークショップ						移 動	交流会
【3日目】 8/27(土)	ワークショ ップ報告	休 憩	総括 講演	エンデ ィング	閉 会			

9 内容

【1日目：8月25日（木）】

12：30～13：30 受付

13：30～13：50 開会

13：50～14：50 基調講演

【テーマ】「西川材との出会い」

【講師】山田直行氏（特定非営利活動法人名栗カヌー工房理事長）

14：50～15：00 休憩

15：00～17：30 シンポジウム

【テーマ】

「過疎化・都市化・単身化時代に立ち向かう地域福祉の実践力を高める
～力を合わせ、生き活きと、希望に満ちた、普段の、暮らしの、幸せ
づくりのために～」

【シンポジスト】

松原 恒也氏（なぐり広場代表世話人）

桑山 和子氏（特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ会長）

大野 康氏（原市場地区社会福祉協議会副会長）

大久保 勝氏（飯能市長・飯能市社会福祉協議会会長）

【コーディネーター】

田中 英樹（日本地域福祉研究所副理事長）

17：30～18：30 移動・休憩

18：30～20：30 情報交換会

【2日目：8月26日（金）】

9：30～17：30 ワークショップ（途中、昼食休憩をはさむ）

○宿泊場所からワークショップ会場へはバスで送迎致します。

申込締切後、参加者へ詳細をご連絡致します。

17：30～18：30 移動

18：30～20：30 交流会

《ワークショップ内容》

<p>ワークショップ① 「成年後見制度、権利擁護事業のあり方を考える」 会場 飯能市役所別館 (所在地：飯能市双柳1-1 電話：042-973-2111)</p>
<p>【アドバイザー】 青山登志夫（静岡福祉大学） 秋山由美子（日本地域福祉研究所） 【実践報告者】 高橋弘氏（けやきの司法書士法人） 浅見節雄氏（飯能市社会福祉協議会（市民後見人）） 【内容】 福祉サービスを利用している人や判断能力が十分でない人も、地域社会の一員であり、個人の尊厳が保たれることが、地域自立生活を送るうえで不可欠な条件となる。そのために成年後見制度や福祉サービス利用援助等の権利擁護事業、対象別虐待防止法、今年から障害者差別解消法の施行など様々な対策が構築されている。しかし、今日、こうした人々に対する財産上・生活上の権利侵害や虐待などの事案は後を絶たない。現行の権利擁護の制度・事業の現状と課題を明らかにし、そのあり方の再構築や権利侵害への予防と救済システムの改善方法を考える。</p>
<p>ワークショップ② 「地域包括ケアシステムにおける多職種の協働と連携」 会場 原市場福祉センター (所在地：飯能市原市場599 電話：042-970-1122)</p>
<p>【アドバイザー】 神山裕美（大正大学） 國光登志子（日本地域福祉研究所） 【実践報告者】 神立浩美氏（飯能市社会福祉協議会（飯能市基幹型地域包括支援センター）） 大野康氏（原市場地区社会福祉協議会） 牧野郁子氏（鶴ヶ島市社会福祉協議会） 【内容】 「地域包括ケア」は国策として出されて10年、概念も変化し各地の取り組みも多様である。高齢者の介護課題に関わらず、個々の住民の生活課題に向き合い、自立への支援方を検討していく中で多職種協働と連携の効果により多様なニーズへの実践事例報告はされてきた。しかし、これらの成果を一件処理に終わらせずに検証し、地域課題として検討し、システム化・政策形成につなげる取り組みは地域ケア会議等のイメージ図に止まっているのではないだろうか。行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、住民の立場からワークショップで考えていこう。</p>
<p>ワークショップ③ 「山間地域振興における地域福祉の役割」 会場 飯能市保健センター名栗分室 (所在地：飯能市上名栗3086 電話：042-979-1100)</p>
<p>【アドバイザー】 宮城孝（法政大学） 菱沼幹男（日本社会事業大学） 【実践報告者】 松原恒也氏（なぐり広場） 町田まさ子氏（なぐり広場） 【内容】 山間地域においては、人口の過疎化・高齢化に伴い集落の維持や耕作放棄地の増加、公共交通機関の減少などコミュニティや生活基盤の持続可能性などの危機が生じている。 本ワークショップにおいては、現地における山間地域をめぐる課題を明らかにするとともに、豊かな自然資源などを活かした産業と福祉が連携した取り組みや農村集落における暮らしを支える生活支援サービスのあり方などについて、参加者とともに探る。</p>
<p>ワークショップ④ 「求められる孤立防止の取り組み」 会場 東吾野地区行政センター (所在地：飯能市虎秀14-5 電話：042-978-1212)</p>
<p>【アドバイザー】 小野敏明（日本地域福祉研究所） 岡村英雄（八王子市役所） 【実践報告者】 石田安良氏（ふくしの森・東吾野） 山江芳子氏（飯能市地域包括支援センターはちまん町） 【内容】 現代の社会では、社会的に孤立する人たちとは、高齢者をはじめとして、青年や中年の引きこもり者、障害者、生活困窮家庭の子どもたち等様々である。これらの人たちの孤立状態を深刻化させないためには、早期の発見と社会関係の構築、地域での居場所等が、住民の方々と専門職の協働のもとに必要なであろう。本ワークショップでは、参加者とこれらのことについて、考えていきたい。</p>

ワークショップ⑤ 「実践事例から生活困窮者の支援を展望する」

会場 美杉台地区行政センター

(所在地：飯能市美杉台1-2-1 電話：042-971-5151)

【アドバイザー】 原田正樹（日本福祉大学） 中島修（文京学院大学）

【実践報告者】 井上直子氏（飯能市役所） 藤野陽介氏（名栗園）

鈴木真樹氏（所沢市社会福祉協議会）

【内容】 生活困窮者自立支援法が施行されてから1年が経過した。飯能市では、市の地域・生活福祉課が行政直営型で総合相談の自立相談支援事業を実施している。生活困窮者の自立支援には、生活困窮者自立支援制度と生活保護制度との連携や社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度との連携等が重要となる。また、経済的困窮のみでなく社会的孤立を防ぐための取り組みも求められ、民生委員・児童委員や社会福祉協議会など、地域福祉実践を活かした取り組みが重要である。飯能市の事例を通して、生活困窮者支援を展望する。

ワークショップ⑥ 基礎講座「現代社会における地域福祉の役割～民生委員・児童委員、自治会町会の今日的課題と活動の展望を中心に～」

会場 飯能市総合福祉センター

(所在地：飯能市双柳371-13 電話：042-973-0022)

【講師】 金井敏（高崎健康福祉大学） 中野いく子（日本地域福祉研究所）

【内容】 民生委員・児童委員は、地域住民のニーズを行政につなぐパイプ役として地域福祉を担ってきた。しかし、今日、地域社会は自治会・町会に加盟しない、又は脱会する世帯も増え、住民（ニーズ）が見え難くなった。孤立した住民の孤独死や児童虐待などが生じているうえに、災害発生の確率が高まっていることから、地域社会をどう立て直し、地域福祉をどう推進するかが喫緊の課題である。参加者で問題を出し合い、活動の方向性を探ることにしたい。

【3日目：8月27日（土）】

8：30～9：00 受付

9：00～10：40 ワークショップ報告

10：40～10：50 休憩

10：50～11：50 総括講演

日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙 策

11：50～12：20 エンディングセレモニー

12：20～12：30 閉会

10 参加費

一般参加（県外） 7,000円

一般参加（県内） 5,000円

学生 3,000円

1日参加 3,000円

1日目のみ参加 1,000円

※1日目情報交換会6,000円、2日目昼食代1,000円・交流会3,000円

1.1 参加申込

7月31日(日)までに、下記名鉄観光サービス株式会社さいたま支店あてFAXにてお申込みください。
参加申込書等の各様式については、日本地域福祉研究所ホームページ及び第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能実行委員会事務局（社会福祉法人飯能市社会福祉協議会）からダウンロードできます。

○名鉄観光サービス株式会社さいたま支店

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目333-13（OLSビル13階）

電話：048-641-5388 FAX：048-641-5287

1.2 事務局

○第22回地域福祉実践研究セミナーin埼玉・飯能実行委員会 事務局

（社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 地域福祉推進係）

〒357-0021 埼玉県飯能市双柳371-13

電話：042-973-0022 FAX 042-973-8941

Mail：tiikifukusi@hannosyakyu.or.jp URL：<http://hannosyakyu.or.jp>

○特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-27ロリエ市ヶ谷3階

電話：03-5225-0237 FAX：03-5225-0238

Mail：jicsw@mx8.alpha-web.ne.jp URL：<http://www.jicw.jp>